

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 次世代「つながる」超精密光計測学構築への挑戦
2. 研究代表者： 清水 裕樹（北海道大学 大学院工学研究院 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、最先端計測・加工機に用いられる長さの「ものさし」光学式スケールの目盛り精度を保証する「差動型デュアル回折光検出法」を確立し、光コムレーザと GPS 通信を利用して長さの国家標準とリンクすることで、距離・時間に制約を受けない次世代「つながる」超精密計測のフレームワークを実現することを目指している。フェーズ1では新たな研究環境の立ち上げのため、一部遅れもあるが、当初計画を確実に遂行しており、研究の問題点を着実に解決し前に進めていることは評価できる。フェーズ2では計画自体は適切であり、実証フェーズにおけるユーザーの掘り起こしを進め、構築したシステムの現場での実用に期待する。

以上